

次 癸 日 濟
十一月十九日

一七
十八年

明治十七年十二月十八日

淨寫

印

校合

印

登錄

印

印

印

郷 輔

印

警務局長

副長

審査

印

別紙主知有同造知事係例第一條中
証取被審るる後調査を以て同條ハ
新々様懐タル所トス
ト有るを以て即チ突
地施行ニ由ル文書ニ付其初メ計畫ヲ為
スハ同條中ニ合ハレサル義ト存ル條尤
モ之通法持合テ未成ニ爲ル者モ裁

三頁宛

東京府

1249

抄

御指令按

後殿伺之旨

明治十七年十二月九日

横濱賀領守府通條例文

普第三四八九號

十七年十二月十九日

参照

海軍造船新條例

第一條 海軍造船所ハ領守府ニ屬シ船

汽機及ヒ其屬具等ヲ製造修理シ其

船ヲ修繕スル事トス

第二十二條 知港事ハ船ヲ修繕スル事

ヲ掌ル可シ

海軍省各局事務章程

第一條 省内六局ヲ置キテ

主務局

第一 艦船機関船具ノ製造修理

装等ニ関スル一切ノ事務ヲ監査ス

三頁宛

海軍省

1251



主船第三七八號

海軍造船所條例第一条中艦船

機装と多分同

七般丙中百七般之号は違海軍造船所
條例第一条中「艦船」ヲ機装スル所トス
處有機装向計畫ヲ初メ機装ニ掛ル事
項ハ終始造船所ニテ擔當スル義ニ依ル
裝向計畫ハ尙白ニテ當理ニ現ニ奉而巳
船所ニテ治メテハ半ノ下相心得テ外
シテ終
末ニ生レテハ半ノ下相心得テ外
相切也

海軍第三四八九號

三頁下

主船第三七八號

受付
三月七日

1252

ナニナニナニナニ

海軍少将赤松則良

海軍省

海軍卿川村純義殿

1253